

経塚古墳(笛吹市)

ここは「山梨県森林公園金川の森」という公園施設



この公園の「どんぐりの森」というエリアに経塚古墳が所在する



前方が復元整備された経塚古墳



南側から見たところ/手前に説明板が立っている



経塚古墳の概要

経塚古墳は古墳時代終末期（7世紀前半）に造られたもので、土で盛った墳丘の中心に遺体を埋葬するための主体部（横穴式石室）を持つ古墳です。この地方の有力者を埋葬したお墓と考えられます。

経塚古墳の特徴は、外側や墳丘内部に回した土留用の石積が八角形になっていることです。また横穴式石室も立派で、大きな石材で組み合わされ、中央部がふくらむような胴張りの構造を持ち、より強固に造られていることです。

■規模 対角長 約13.0m 高さ 約2.2m
対辺長 約12.0m

■主体部 両袖型横穴式石室
石室長 6.6m 高さ 1.2m～1.6m
(玄室 3.0m 羨道長 3.6m)
幅 玄室 1.2m～1.6m

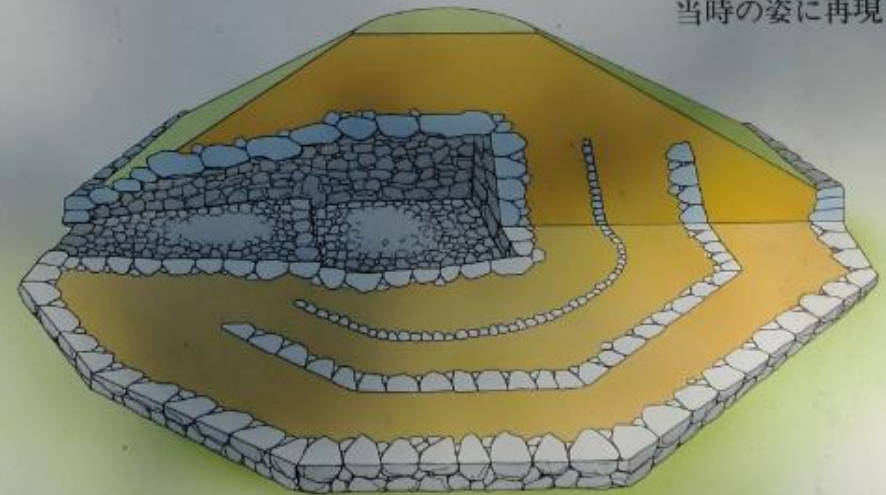
■副葬品 鉄斧 1点

八角形墳の意味

古墳時代の終わりごろ（7～8世紀）中国政治思想や仏教思想などの影響を受けて八角形墳が造られたと考えられています。いまのところ奈良県や京都府の天皇陵と考えられている五例を含む十数例しか確認されていません。いずれにせよ、八角形墳に葬られたのは、ごく限られた人たちであったことはまちがいないでしょう。



この古墳は、土中に埋められたものを、調査によって当時の姿に再現し



[調査結果からの復元図]

山梨
山梨



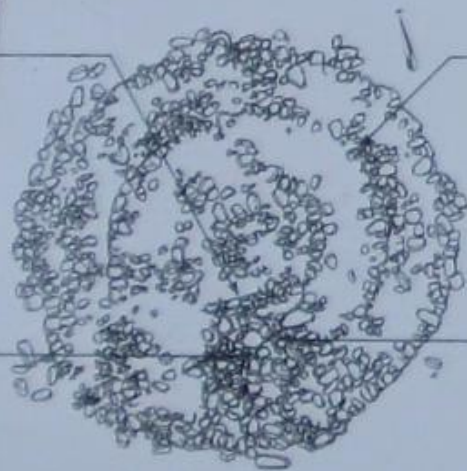
石室解体



発掘調査風景



発掘調査前の様子



[発掘調査での検出状況]



中段列石



閉塞石



玄室内部の様子





- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ① 経塚古墳 | ④ 甲斐国分尼寺跡 | ⑦ 塩田古墳群 |
| ② 四ツ塚古墳群 | ⑤ 甲斐国分寺跡 | ⑧ 長田古墳群 |
| ③ 錦生古墳群 | ⑥ 国分古墳群 | ⑨ 千米寺古墳群 |

石室入口





内部の様子



北側から見たところ/八角形になっているのが見てとれる



墳丘の裾をアップで見る



石室入口の周辺



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huehuki_kyoduka/

[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B5%8C%E5%A1%9A%E5%8F%A4%E5%A2%B3\(%E7%AC%9B%E5%90%B9%E5%B8%82\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B5%8C%E5%A1%9A%E5%8F%A4%E5%A2%B3(%E7%AC%9B%E5%90%B9%E5%B8%82))

<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/topics/1-100/0014.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/vvashio.htm>

<http://mj-ktmr2.digi2.jp/p19ki/tpx1108kai1.htm>

中心点
 検索地点
 L字スケール
 アイコン

山梨県笛吹市一宮町国分 ▲ N